

目次

1	はじめに	1
2	研究業績	2
	(1) 原著・報告	2
	(2) 著書/報告書	4
	(3) シンポジウム・セミナー等	4
	(4) 学会発表等	4
	(5) 講演等	6
3	研究活動	6
	(1) 勉強会（ゼミ）	6
	(2) 研究会	10
	(3) 研究プロジェクト	11
4	教育活動	13
	(1) 学部講義	13
	(2) 学部実習	16
	(3) 大学院講義	16
	(4) 大学院実習	22
	(5) 大学院演習	22
	(6) 卒業論文	22
	(7) 修士論文	22
	(8) 博士論文	22
5	学会における活動	22
6	社会的活動	23
7	教室員名簿(2023 年度)	23

1 はじめに

地域看護学教室の2023（令和5）年度年報をお届けいたします。本年度は、前田明里助教も含め4人の新たな体制で取り組んでまいりました。また、博士課程1名が修了を迎え、東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナースングリサーチセンター博士研究員（Postdoctoral Researcher）として着任しました。皆様のひとかたならぬご指導・ご支援のおかげ様でございます。心より感謝申し上げます。

修士課程における保健師の免許教育課程も、2023年度でコース開設から10年目を迎えました。最近の人工知能やテクノロジーの目覚ましい発達を目の当たりにし、人間の保健師が行うケアの意義について改めて考えさせられます。保健師のケアは、単に正しい知識や情報伝達をすることに留まりません。現場の保健師は、個人の家庭や職場等のコミュニティに出向き、人々との信頼関係やつながりをベースとしつつ、地道な相談活動や保健指導を行っています。しかし、保健師のケアは、医療保険のように、貨幣価値に換算可能な形で点数化されているわけではありません。このため、保健師が、個々の住民ニーズやタイミングに合わせて、丁寧にケアを行っていることやその成果を可視化・説明しづらい面があることも事実です。

私たちは、学生や現場の実践家、そして日々ご指導いただいている先生方のお力をお借りしながら、変化の激しい時代に対応しつつ、住民の生活を深く理解し、現場のニーズに応えることのできる保健師の育成を目指し、日夜精進しております。教育・研究・社会貢献を連動させ、少しずつ保健師のケアやその意義の可視化に努めているところです。今年度、新たに「地域における乳児股関節見落としゼロ」プロジェクトを開始させました。保護者の方だけでなく、保健師、助産師、小児整形外科医といった専門職、行政関係者、企業等にご協力・ご指導いただきながら、子どもの生涯歩行を司る股関節を健やかに育む地域づくりを目指す取組です。

ここに纏めました2023年度の活動報告をご高覧いただき、ご助言、ご指導を賜れば幸いです。至らぬところも多く、微力ではございますが、今後とも一層のご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

2023 年

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻
地域看護学分野 准教授
吉岡京子

2 研究業績

(1) 原著・報告

Yoshioka-Maeda, K., Matsumoto, H., Inagaki-Asano, A., & Honda, C. (2023). Community-Based Hip Screening for Up to Four-Month-Old Infants and Health Guidance for Their Caregivers in Japan: A Nation-Wide Survey. *Nursing Reports*, 13(4), Article 4.
<https://doi.org/10.3390/nursrep13040121>

Yoshioka-Maeda, K., Katayama, T., Fujii, H., Shiomi, M., Hosoya, N., & Mayama, T. (2023). Effectiveness of a web-based learning program for promoting local healthcare planning competencies. *Public Health Nursing*, 40(5), 685–695. <https://doi.org/10.1111/phn.13229>

Yoshioka-Maeda, K., Iwasaki-Motegi, R., & Honda, C. (2023). Resolution for the Severe Shortage of Nurses for Combating COVID-19 in Japan. *Asia Pacific Journal of Public Health*, 35(4), 320–321. <https://doi.org/10.1177/1010539520982489>

Yoshioka-Maeda, K., Matsumoto, H., Honda, C., Shiomi, M., Taira, K., Hosoya, N., Sato, M., Sumikawa, Y., Fujii, H., & Miura, T. (2023). New Web-Based System for Recording Public Health Nursing Practices and Determining Best Practices: Protocol of an Exploratory Sequential Design. *JMIR Research Protocols*, 12(1), e45342. <https://doi.org/10.2196/45342>

Yoshioka-Maeda, K., Honda, C., Matsumoto, H., Kinjo, T., Fujiwara, K., Aoki, K. (2024). Developing an Educational Program for Ultrasound Hip Screening during Newborn and Infant Home Visits: A Protocol Paper. *Nursing Reports*, 14(1), 140-147.
<https://doi.org/10.3390/nursrep14010012>

Honda, C., & Yamamoto-Takiguchi, N. (2024). Association between obtaining injury prevention information and maternal and child health services during COVID-19. *BMC Health Services Research*, 24(1), 275. <https://doi.org/10.1186/s12913-024-10794-7>

Matsumoto, H., Tsuda, S., Takehara, S., Yabuki, T., & Hotta, S. (2023). Association between Support after Dementia Diagnosis and Subsequent Decrease in Social Participation. *Annals of Geriatric Medicine and Research*, 27(3), 274–276. <https://doi.org/10.4235/agmr.23.0091>

Matsumoto, H., Hagiwara, Y., Yamamoto-Mitani, N., & Igarashi, A. (2023). A randomized control trial for ReDeSign: A dementia-friendly mobile microlearning training for store workers in Japan. *The Gerontologist*, 63(8), 1300–1310. <https://doi.org/10.1093/geront/gnac182>

- Matsumoto, H., Maeda, A., Igarashi, A., Weller, C., & Yamamoto-Mitani, N. (2023). Dementia education and training for the general public: A scoping review. *Gerontology & Geriatrics Education*, 44(2), 154–184. <https://doi.org/10.1080/02701960.2021.1999938>
- Amano, M., Matsumoto, H., Honda, C., & Yoshioka-Maeda, K. (2023). Predictors of parenting difficulties at the 18-month health checkups: A retrospective study using administrative data from infant health checkups. *Public Health Nursing*. <https://doi.org/10.1111/phn.13277>
- Igarashi, A., Matsumoto, H., Takaoka, M., Kugai, H., Suzuki, M., Murata, S., Miyahara, M., & Yamamoto-Mitani, N. (2023). Building Relationships Between Community Care Professionals and Convenience Stores in Japan: Community-Based Participatory Research. *Progress in Community Health Partnerships: Research, Education, and Action*, 17(1).
- Wu, J., Igarashi, A., Matsumoto, H., Takaoka, M., Suzuki, H., Ito, K., & Yamamoto-Mitani, N. (2023). The effect of a VR educational programme to experience dementia on the attitudes of administrative staff towards people with dementia: Pre- and post-test study. *Proceedings of Japanese Society for Medical Virtual Reality*, 2023, 14–15. https://doi.org/10.24764/jsmvr.2023.0_14
- Tsuda, S., Matsumoto, H., Takehara, S., Yabuki, T., & Hotta, S. (2023). Family caregiver's concerns and anxiety about unaccompanied out-of-home activities of persons with cognitive impairment. *BMC Geriatrics*, 23(1), 396. <https://doi.org/10.1186/s12877-023-04025-7>
- Igarashi, A., Matsumoto, H., Suzuki, H., Takaoka, M., Kugai, H., Sakka, M., & Yamamoto-Mitani, N. (2024). Helping behaviours of community members towards older adults and the related factors: A cross-sectional study. *Psychogeriatrics*, 24(1), 117–126. <https://doi.org/10.1111/psyg.13050>
- 鈴木はるの, 五十嵐歩, 坂井志麻, 目麻里子, 高岡茉奈美, 松本博成, 伊藤研一郎, 久貝波留菜, & 山本則子. (2023). 一人称体験のできる認知症教育プログラムの受講が看護学生の態度に与える効果: 前向き観察研究. *日本認知症ケア学会誌 = Journal of Japanese Society for Dementia Care*, 22(2), 393–403.
- 角川由香, 大谷温子, 本田千可子, & 山本則子. (2024 年). 災害時個別支援計画作成に関わる保健師が人工呼吸器使用者の療養生活を支えるために行っている実践内容. *日本健康学会誌*, 90(1), 17–25. https://doi.org/10.3861/kenko.90.1_17

(2) 著書/報告書

吉岡京子, 真山達志, 片山貴文, 細谷紀子, 塩見美抄, & 藤井仁. (2023). 保健医療福祉計画と何か: 策定から評価まで. 法律文化社.

吉岡京子. (2023). 特集 保健師の技術ー「事業化」「施策化」とは その力を高める取り組み「事業化」「施策化」の過程と実践におけるポイント. 保健師ジャーナル, vol.79(3)

吉岡京子. (2023). 苦手意識を解消！実践的な地域アセスメントのポイント 第3回「象徴的な個別事例」から地域を見る. 保健師ジャーナル, vol.79(4).

吉岡京子. (2024). 第3章 公衆衛生のしくみ. 系統看護学講座「公衆衛生 第13版」. 医学書院.

五十嵐歩, & 松本博成. (2023). Dementia Friendly Community 実現に向けたプログラム開発と実装. *Geriatric Medicine (老年医学)*, 61(3), 227–231.

五十嵐 歩, 高岡 茉奈美, 松本 博成, 鈴木 はるの, & 山本 則子. (2023). 認知症フレンドリー社会の創成に向けた多様なイニシアチブの活動 実践報告 Dementia-Friendly Community 実現に向けた認知症啓発ツールの開発と実装の試み 子ども向け学習プログラムの作成. 老年精神医学雑誌, 34(8), 789–793.

(3) シンポジウム・セミナー等

吉岡京子. (2023). 乳児の股関節脱臼の見落としゼロを目指す異常判別 AI とコミュニティスクリーニングシステムの開発. 研究データエコシステム構築事業シンポジウム 2023, 東京.

吉岡京子. (2023). 新生児・乳児の股関節脱臼の見落としゼロを目指す地域スクリーニングシステム開発におけるデータ利活用. 東京大学未来社会協創推進本部 学知創出分科会 データプラットフォームイニシアティブデータ活用社会創成シンポジウム 2023, 東京.

(4) 学会発表等

Yoshioka-Maeda, K., Honda, C., Sumikawa, Y., Okamoto, Y., Shimada, M., Miura, T., Otsuki, M., Fujii, H., Iwasaki-Motegi, R. (2023). Does virtual reality simulation training for nursing students improve clinical reasoning skills for home visits? Yonsei International Nursing Conference 2023, Seoul, South Korea, October 4-7, 2023.

Yokobori, H., Honda, C., Matsumoto, H., Meada-Suzuki, A., Yoshioka-Maeda, K. (2024). Development of a Negative Emotions Scale for Public Health Nurses Engaged in Child Abuse Prevention Activities: A Pilot Study, UTokyo Nursing International Conference 2024, Tokyo, Japan, July 5,

2024.

吉岡 京子, 片山 貴文, 藤井 仁, 塩見 美抄, 細谷 紀子, & 真山 達志. (2023). 保健医療福祉計画策定に関する保健師 WEB 教育プログラムの開発 ランダム化比較試験. 第 82 回日本公衆衛生学会総会, つくば.

本田 千可子, 松本 博成, 稲垣 安沙, & 吉岡 京子. (2023). 自治体での発育性股関節形成不全のスクリーニング及び保健指導の実態. 第 82 回日本公衆衛生学会総会, つくば.

本田 千可子, 角川由香, 吉岡京子, 山本則子. (2023), 新型コロナウイルス感染症による自宅療養者支援の実態 (第二報): 地方自治体に対する web 調査結果. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 山口.

高岡 茉奈美, 五十嵐 歩, 矢坂 泰介, 鈴木 はるの, 角川 由香, 吉岡 京子, 本田 千可子, 松本 博成, 久貝 波留菜, 稲垣 安沙, 呉 金艶, 二見 朝子, & 山本 則子. (2023). 市民に必要なケアコンピテンシー(ケアする力)の明確化 コンピテンシー向上プログラムの開発に向けて. 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 下関.

津田 修治, 松本 博成, 竹原 敦, 矢吹 知之, & 堀田 聡子. (2023). 認知症のある人の自宅外活動に対する家族の不安. 第 24 回日本認知症ケア学会, 京都.

真志田 祐理子, 深堀 浩樹, 鈴木 はるの, 高岡 茉奈美, 松本 博成, 目 麻里子, 山本 則子, & 五十嵐 歩. (2023). Virtual Reality 教材とカードゲームを用いた認知症教育が看護学生の態度に及ぼす効果. 第 33 回日本老年学会総会, 横浜.

山名 隼人, 本田 千可子, 松本 博成, 角川 由香, 茂木 りほ, & 吉岡 京子. (2023). 里帰り出産が乳児健康診査時点の母子健康状態と育児支援状況に与える影響. 第 82 回日本公衆衛生学会総会, つくば.

細谷 紀子, 吉岡 京子, 藤井 仁, 角川 由香, 塩見 美抄, 佐藤 美樹, 松本 博成, 本田 千可子, 平 和也, 茂木 りほ, & 三浦 貴大. (2023). 自治体保健師による個から地域・事業化への活動展開における妥当性と実施状況との比較. 第 82 回日本公衆衛生学会総会, つくば.

細谷 紀子, 吉岡 京子, 藤井 仁, 塩見 美抄, 佐藤 美樹, 角川 由香, 松本 博成, 本田 千可子, 茂木 りほ, 平 和也, 三浦 貴大. (2023). 自治体保健師による個別支援から地区活動・事業化への活動展開プロセスの実施状況. 第 26 回日本地域看護学会学術集会, 神奈川.

角川 由香, 山名 隼人, 本田 千可子, 松本 博成, 茂木 りほ, & 吉岡 京子. (2023). 1 歳 6 ヶ月児歯科健康診査における児の「歯の汚れ」に関する実態. 第 82 回日本公衆衛生学会総会, つくば.

(5) 講演等

吉岡京子

熊本大学医学部保健学科非常勤講師	2023 年 4 月 1 日 - 2024 年 3 月 31 日
日本看護協会 2023 年度インターネット配信研修「オンデマンド」講師	
	2023 年 4 月 3 日 - 2024 年 2 月 13 日
国立保健医療科学院非常勤講師（公衆衛生看護研修「中堅期」）事前学習動画	
	2023 年 4 月 21 日 - 5 月 8 日
国立保健医療科学院非常勤講師（公衆衛生看護研修「中堅期」）	
	2023 年 6 月 13 日 - 2023 年 6 月 16 日
	2024 年 2 月 7 日 - 2024 年 2 月 9 日
国立保健医療科学院非常勤講師（公衆衛生看護研修「管理期」）事前学習動画	
	2023 年 8 月 18 日 - 9 月 15 日
横浜市保健師 10 年目研修	2023 年 9 月 8 日
北海道看護協会 複雑かつ多重課題事例を紐解く研修会 講師	2023 年 9 月 22 日
国立保健医療科学院非常勤講師（公衆衛生看護研修「管理期」）	2023 年 11 月 15 日
文京区保健師の人材育成研修 講師	2023 年 12 月 11 日
国立保健医療科学院非常勤講師（公衆衛生看護研修「統括保健師」）	2023 年 12 月 21 日
杉並区保健師人材育成研修 講師	2024 年 2 月 28 日

本田千可子

東京都港区母子保健研修「妊娠期から伝えたい 子どもの事故予防—母子保健事業を活用した保護者への教育—」 講師 2023 年 10 月 12 日

東京大学医学部健康総合科学科 高校生のためのオープンキャンパス 2023 看護学って理系？文系？リケジョの力を生かす看護科学「0 歳児の傷害を防ぐ データサイエンスから RCT へ」 2023 年 8 月 3 日

松本博成

東京都練馬区. 令和5年度N-improリーダー研修, 東京. 2023年11月13日

3 研究活動

(1) 地域看護学教室勉強会

日程（毎週火曜日） 前期 2023/4/4～7/18 後期 2023/9/5～2024/1/30

教室員の研究計画および最新研究トピックのディスカッション

参加者：

＜地域看護学教室＞ 吉岡, 本田, 松本, 前田, 城内, 横堀, 辰亥, 宮井, 高橋

日程	発表者	発表内容	タイトル
4月4日	吉岡京子	オリエンテーション	令和5年度教室研究会への参加について 文献検索・批判的吟味/クリティーク
4月11日	横堀花佳	ジャーナル・クリティーク	Emotional Intelligence Buffers the Effects of Negative Emotions on Job Burnout in Nursing
4月11日	城内愛	博士論文進捗	Home care nurses' experience of providing care or patients with COVID-19 at home : A qualitative study
4月18日	横堀花佳	博士論文進捗	Progress on Doctoral Dissertation
4月18日	辰亥佳奈	修士論文進捗	My Research Proposal for Master's Thesis
4月25日	高橋薫	修士論文進捗	My interest and idea that I'd like to study
4月25日	宮井雪乃	修士論文進捗	My Preparation for Master's Thesis
5月9日	横堀花佳	博士論文進捗	博論計画
5月9日	城内愛	ジャーナル・クリティーク	A grounded theory study of 'turning into a strong nurse': Earthquake experiences and perspectives on disaster nursing education
5月16日	辰亥佳奈	ジャーナル・クリティーク	Cholesterol and breast cancer risk: a cohort study using health insurance claims and health checkup databases
5月16日	宮井雪乃	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
5月23日	高橋薫	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
5月23日	城内愛	博士論文進捗	Home care nurses' experience of providing care or patients with COVID-19 at home : A qualitative study
5月30日	横堀花佳	ジャーナル・クリティーク	Developing a structural equation model from Grandey's emotional regulation model to measure nurses' emotional labor, job satisfaction, and job performance
5月30日	辰亥佳奈	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
6月6日	高橋薫	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
6月6日	宮井雪乃	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
6月20日	城内愛	博士論文進捗	Home care nurses' experience of providing care or patients with COVID-19 at home : A qualitative study
6月20日	横堀花佳	博士論文進捗	博論計画

6月27日	辰亥佳奈	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
6月27日	高橋薫	ジャーナル・クリティーク	Knowledge on diabetes and its related factors among the people with type 2 diabetes in Thailand: a cross-sectional study
7月4日	宮井雪乃	ジャーナル・クリティーク	Internet Addiction, Smartphone Addiction, and Hikikomori Trait in Japanese Young Adult: Social Isolation and Social Network
7月4日	城内愛	博士論文進捗	Home care nurses' experience of providing care or patients with COVID-19 at home : A qualitative study
7月11日	辰亥佳奈	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
7月11日	横堀花佳	博士論文進捗	博論計画
7月18日	高橋薫	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
7月18日	宮井雪乃	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
9月5日	城内愛	博士論文進捗	Home care nurses' experience of providing care or patients with COVID-19 at home : A qualitative study
9月5日	高橋薫	ジャーナル・クリティーク	Initial Glycemic Control and Care Among Younger Adults Diagnosed With Type 2 Diabetes
9月12日	宮井雪乃	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
9月12日	辰亥佳奈	ジャーナル・クリティーク	Cold Weather as a Risk Factor for Late Diagnosis and Surgery for Developmental Dysplasia of the Hip
9月19日	横堀花佳	博士論文進捗	博論計画
9月19日	高橋薫	修士論文進捗	修士論文作成にむけて
9月26日	辰亥佳奈	修士論文進捗	修士論文作成にむけて
10月3日	横堀花佳	ジャーナル・クリティーク	Development and Psychometric Properties of the Therapeutic Relationship Assessment Scale-Nurse
10月3日	城内愛	博士論文進捗	Home care nurses' experience of providing care or patients with COVID-19 at home : A qualitative study
10月10日	高橋薫	ジャーナル・クリティーク	Diabetes Distress and Glycemic Control: The Buffering Effect of Autonomy Support From Important Family Members and Friends
10月10日	宮井雪乃	修士論文進捗	修士論文作成に向けて

10 月 17 日	辰亥佳奈	ジャーナル・クリティーク	Factors Influencing Time-to-Diagnosis of Biliary Atresia
10 月 17 日	横堀花佳	博士論文進捗	博論計画
10 月 24 日	高橋薫	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
10 月 24 日	宮井雪乃	ジャーナル・クリティーク	Public health nurses' perceptions of interprofessional collaboration related to adolescents' mental health problems in secondary schools: A phenomenographic study
11 月 7 日	宮井雪乃	ジャーナル・クリティーク	Child neglect and eating habits in primary schoolchildren: A prospective study in Wuhan, China
11 月 7 日	横堀花佳	博士論文進捗	博論計画
11 月 14 日	高橋薫	ジャーナル・クリティーク	Occupational Therapy Intervention Improves Glycemic Control and Quality of Life Among Young Adults With Diabetes: the Resilient, Empowered, Active Living with Diabetes (REAL Diabetes) Randomized Controlled Trial
11 月 14 日	宮井雪乃	ジャーナル・クリティーク	Changes in BMI During the COVID-19 Pandemic
11 月 14 日	辰亥佳奈	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
11 月 21 日	辰亥佳奈	ジャーナル・クリティーク	Epinephrine autoinjector prescription patterns for severe anaphylactic patients in Japan: A retrospective analysis of health insurance claims data
11 月 21 日	小林小百合先生	最近のご研究について	
11 月 28 日	横堀花佳	博士論文進捗	博論計画
11 月 28 日	辰亥佳奈	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
12 月 5 日	横堀花佳	ジャーナル・クリティーク	Free To Be You and Me: A Climate of Authenticity Alleviates Burnout From Emotional Labor
12 月 5 日	土屋瑠見子先生	最近のご研究について	

12 月 12 日	城内愛	博士論文進捗	新型コロナウイルス感染症の自宅療養者支援に携わる訪問看護師の経験に関する質的研究(審査会予演)
12 月 12 日	辰亥佳奈	ジャーナル・クリティーク	Importance of Regular Examination and Follow-up in Pediatric Patients with Neurogenic Bladder: 24-Month Follow-up Study Using a Japanese Health Insurance Database
12 月 19 日	城内愛	博士論文進捗	新型コロナウイルス感染症の自宅療養者支援に携わる訪問看護師の経験に関する質的研究(審査会予演)
12 月 19 日	辰亥佳奈	その他	医学英語論文執筆セミナー〔基礎コース〕の報告
1 月 9 日	城内愛	博士論文進捗	新型コロナウイルス感染症の自宅療養者支援に携わる訪問看護師の経験に関する質的研究(審査会予演)
1 月 9 日	高橋薫	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
1 月 16 日	宮井雪乃	ジャーナル・クリティーク	Number of public health nurses and COVID-19 incidence rate by variant type: an ecological study of 47 prefectures in Japan
1 月 16 日	山本なつ紀先生	最近のご研究について	
1 月 23 日	横堀花佳	博士論文進捗	保健師が児童虐待リスクのある保護者に抱く陰性感情と援助関係構築に与える影響、および緩衝要因の検討：横断研究
1 月 23 日	辰亥佳奈	修士論文進捗	修士論文作成に向けて
1 月 30 日	高橋薫	ジャーナル・クリティーク	The contribution of housing and neighborhood conditions to educational inequalities in non-communicable diseases in Europe: findings from the European Social Survey (2014) special module on the social determinants of health
1 月 30 日	宮井雪乃	修士論文進捗	修士論文作成に向けて

(2) 研究会

日程	講師およびテーマ（敬称略）
----	---------------

4月21日	前田明里 (東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 地域看護学分野 博士課程修了生) 令和4年度博士学位論文 「在宅看取りに携わる訪問看護師の連携関係構築に関する質的 研究」
5月16日	木村哲也 (国立ハンセン病資料館 学芸員) 「ハンセン病と保健師」
6月1日	星野弘太郎 (慈誠会山根病院整形外科) 「日本と世界の DDH 検診 脱臼遅診断ゼロを目指して」
7月20日	武井麻子 (Office-Asako、日本赤十字看護大学名誉教授) 「対人援助サービスと職場ストレスー感情労働の視点からー」
9月8日	六路恵子・土屋文枝 (全国健康保険協会 参与、全国健康保険協会埼玉支部) 「協会けんぽ埼玉支部における重症化予防事業及び受診勧奨業 務について」
10月25日	塩見美抄 (京都大学大学院 医学研究科人間健康科学系専攻 地域健康創造看護学) 「主観的評価尺度開発経験と今後求められる標準」

(3) 研究プロジェクト

吉岡京子 (研究代表者), 本田千可子, 角川由香.

科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽) 2021 - 2023 年度.

家での暮らしに関する臨床推論力を高める遠隔 VR 環境を通じた協調学習プログラム.

吉岡京子 (研究代表者), 本田千可子, 松本博成.

厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業) 2022 - 2024 年度.

ICT を用いた保健師活動アルゴリズム及び評価手法の開発と統括保健師による人材育成への活用.

吉岡京子（研究代表者），本田千可子，松本博成。

文部科学省 AI 等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業 2022 - 2023 年度。

乳児の股関節脱臼の見落としゼロを目指す異常判別 AI とコミュニティスクリーニングシステムの開発。

吉岡京子・青木真理（西川株式会社との共同研究）

新生児・乳児の健やかな成長に資する就寝環境の解明. 2023 年 10 月 1 日 - 2024 年 9 月 30 日

本田千可子（研究代表者）。

科学研究費助成事業 若手研究. 2021 - 2024 年度。

妊娠期から始める乳児の傷害予防：SNS・地域資源ハイブリッド型プログラムの開発。

松本博成（研究代表者）。

科学研究費助成事業 研究活動スタート支援 2022 - 2023 年度

認知症のある人へのサポート行動の生起と促進を説明する理論の構築

五十嵐歩，伊藤研一郎，山本則子，似内遼一，松本博成（研究分担者），高岡茉奈美

科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽). 2022 - 2024 年度。

VR が育む認知症にやさしいまちづくり：共感的理解による支援行動生起の戦略。

城内愛。

グリーントランスフォーメーションを先導する高度人材育成プロジェクト。

新たな地域包括ケアシステムへのトランスフォームに向けたプロセス—新型コロナウイルス感染症における自宅療養者への訪問事業に着目して—。

4 教育活動

(1) 学部講義

1) 地域看護学 4 年前期 (2 単位)

担当教員：吉岡京子	地域看護学教室
蔭山正子	大阪大学高等共創研究院・大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
加藤たか子	文京区保健サービスセンター係長・保健師
小西かおる	大阪大学大学院医学系研究科地域ヘルスケアシステム科学研究室
村山亜矢子	高砂熱学工業株式会社・保健師
山本葉里	文京区保健所健康推進課・保健師
松永篤志	東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生看護学分野
本田千可子	地域看護学教室
松本博成	地域看護学教室
前田 明里	地域看護学教室

場所：医学部 5 号館地域看護学演習室

日程：2023 年 4 月 6 日～2023 年 5 月 25 日 木曜日 1, 2 限

講義目的および内容：地域看護学は地域で生活している個人，家族，特定集団を対象に、健康増進，疾病の予防と回復，日常生活や社会生活への適応を図るための支援方法を探求する学問である。そのための対象論と方法論について講義する。内容としては，ライフステージ別（母子・成人等）、健康課題別（難病・精神・災害等）にみた健康問題の根拠法令、支援システム、具体的な活動を学ぶ。

評価：出席状況、レポート、発表内容により評価する。**3 回以上欠席の場合は、単位取得できない。**

スケジュール

日程	時限	講義題目	担当
4 月 6 日 (木)	1, 2 限	地域看護学総論、地域看護職の職場と機能	吉岡・本田
4 月 13 日 (木)	1, 2 限	精神保健	蔭山
4 月 20 日 (木)	1, 2 限	難病保健	小西
4 月 27 日 (木)	1, 2 限	産業保健	村山
5 月 11 日 (木)	1, 2 限	災害時の保健活動・危機管理	松永
5 月 18 日 (木)	1, 2 限	仮：保健師活動での挑戦（コロナ対応含む）	山本葉里

2) 在宅看護論 3 年後期 (2 単位)

担当教員：	山本 則子	成人看護学教室
	岩本 大希	ウィル訪問看護ステーション江戸川
	萱間 真美	国立看護大学校
	高砂 裕子	南区医師会訪問看護ステーション
	永田 智子	慶應義塾大学 看護医療学部
	平原 優美	日本訪問看護財団 あすか山訪問看護ステーション
	角川 由香	成人看護学教室
	吉岡京子	地域看護学教室
	本田 千可子	地域看護学教室
	松本 博成	地域看護学教室
	前田 明里	地域看護学教室

場所：医学部 5 号館 1 階 地域看護演習室 112 室

もしくはオンライン (zoom) 講義

日程：2023 年 10 月 6 日～ 2023 年 12 月 22 日の金曜日 (予定)

講義目的および内容：

在宅療養者を取りまく社会状況や保健医療福祉のしくみを理解すること。そのために、在宅療養者の生活や健康上の問題に対する個別的・家族的アプローチの方法、ケアプランの組み方、ケアの提供方法、ケアシステムなどに関する講義を行う。

参考書：

杉本正子編：在宅看護論 実践をことばに 第 6 版，ヌーベルエディタ，2015.

原礼子編：プリンシプル在宅看護学 第 1 版，医歯薬出版，2015.

成績評価：出席状況とレポート等の提出物から総合的に評価する。

スケジュール (予定)：

日程	時限	講義題目	担当
10 月 6 日 (金)	2 限	地域包括ケアシステムにおける在宅看護	角川
10 月 6 日 (金)	4 限	退院支援	永田
10 月 13 日 (金)	1, 2 限	看護職が行う地域での予防活動	前田/松本/本田
10 月 13 日 (金)	3 限	在宅看護学総論	山本

10月13日	(金)	4,5限	訪問看護の対象者：個別事例（小児）	岩本
10月27日	(金)	3,4限	訪問看護の対象者：個別事例（終末期）	平原
11月10日	(金)	4,5限	訪問看護の対象者：個別事例（精神）	萱間
11月24日	(金)	2限	在宅看護と災害対策	前田/松本/本田
11月24日	(金)	3,4限	Inter Professional Education(IPE)	前田/吉岡
12月22日	(金)	4限	訪問看護管理	高砂

3) 看護学概論I—生きることを支える科学—

対象：駒場学生

日程：2023年5月18日

内容：まちづくりで暮らしを支える（吉岡）

4) 看護学概論II—社会で活躍する看護プロフェッショナル—

対象：駒場学生

日程：2023年10月19日

内容：地域に住む高齢者を支える、支える人を増やす（松本）

5) 健康総合科学概論

対象：健康総合科学科 2年生

日程：2024年1月15日

内容：地域看護学入門（吉岡）

6) 公共健康科学統合講義I

対象：健康総合科学科 2年生

日程：2024年1月5日

内容：地域保健（吉岡）

(2) 学部実習

[3 年生] 在宅看護学実習

実習日程 : 2023 年 10 月 20 日、11 月 10 日、11 月 17 日、12 月 1 日、12 月 8 日
実習報告会 : 2023 年 12 月 15 日
実習施設 : 訪問看護ステーション
訪問看護ステーションけせら (1 名)

[4 年生] 在宅看護学実習

実習日程 Group1 : 2023 年 9 月 25 日～9 月 29 日
Group2 : 2023 年 10 月 2 日～10 月 5 日
実習報告会 : 2023 年 10 月 6 日
実習施設 : 訪問看護ステーション
ウィル訪問看護ステーション江東サテライト (Group1) (2 名)
訪問看護ステーションけせら (Group2) (1 名)
小石川医師会訪問看護ステーション (Group2) (2 名)

(3) 大学院講義

1) 支援技術論I (保健師教育科目)

担当教員 : 荒木田美香子 川崎市立看護大学
安齋由貴子 宮城大学看護学部
池田真理 家族看護学教室
大木幸子 杏林大学保健学部看護学科
蔭山正子 大阪大学高等共創研究院・大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
齋藤朱美 東京都立深川高等学校
吉岡京子 地域看護学教室
本田千可子 地域看護学教室
松本博成 地域看護学教室
前田明里 地域看護学教室

場所 : 医学部 5 号館地域看護学演習室

日程 : 2023 年 6 月 8 日～2023 年 7 月 20 日 木曜日 3, 4 限 (変更日時あり)

講義目的および内容： 地域住民への個別指導・集団指導を行う際の知識と理論について学ぶ。特に、様々なライフステージ（母子・成人・高齢者等）、健康課題（精神、感染症等）をもつ対象者に対する支援技術（信頼関係の構築、家庭訪問、健康診査、健康相談、健康教育、ケースマネジメント、グループ支援）に焦点を当てる。

参考書： 公衆衛生看護学テキスト2「公衆衛生看護技術」医歯薬出版，2022.
藤内修二．標準保健師講座・別巻1保健医療福祉行政論 第5版（2021）医学書院.

評価： 出席状況・レポート・発表内容により評価する。

スケジュール

日程	時限	講義題目	担当
6月 8日（木）	3,4限	家族を単位とした支援の方法と理論（仮）	池田
6月15日（木）	3,4限	保健師によるグループ支援の技術	蔭山
6月22日（木）	3,4限	健康課題に応じた保健師による支援技術：感染症	大木
6月29日（木）	3,4限	保健師による施策化・システムの構築の基礎となる概念と支援技術	安斎
7月 6日（木）	3,4限	集団健康教育の理論と実践	荒木田
7月13日（木）	3,4限	地域住民への個別支援技術：家庭訪問、面接、電話等 地域住民を対象としたスクリーニング技術	地域教員
7月20日（金）	3,4限		齋藤

2) 支援技術論II（保健師教育科目）

担当教員： 吉岡京子 地域看護学教室
本田千可子 地域看護学教室
松本博成 地域看護学教室

場所： 医学部5号館地域看護学演習室

日程： 2023年7月25日～2023年7月27日（集中講義）

講義目的および内容

： 地域住民への個別指導・集団指導を行う際の知識と技術を習得することを目的とする。特に、対人支援技術（信頼関係の構築、家庭訪

問、健康診査、健康相談など）に焦点を当て、具体的な技術を学ぶことを目的にシミュレーション演習を行う。

参考書 : 公衆衛生看護学テキスト 2「公衆衛生看護技術」医歯薬出版, 2022.

評価 : 出席状況・レポート・発表内容により評価する。

スケジュール

日程	時限	講義題目	担当
7月25日 (火)	1限	オリエンテーション、地域住民への個別・集団支援技術	吉岡
	2-5限	地域における育児支援（新生児-乳幼児とその親への支援技術）：新生児訪問と乳児健康診査場面のシミュレーション、デブリーフィング、振り返り	吉岡、 本田、 松本、 前田
7月26日 (水)	1限	地域における感染症発生時の対応について	吉岡
	2-5限	感染症（結核、COVID-19、HIV等）に罹患した本人とその家族への支援技術：退院支援、家庭訪問、電話相談等のシミュレーション、デブリーフィング、振り返り	吉岡、 本田、 松本、 前田
7月27日 (木)	1限	家での暮らしのアセスメントと支援技術	吉岡
	2-5限	地域で暮らす高齢者への支援技術：家庭訪問、健康相談、ケースマネジメント場面のシミュレーション、デブリーフィング、振り返り ※VR教材使用	吉岡、 本田、 松本、 前田

3) 公衆衛生看護学I（保健師教育科目）

担当教員 : 五十嵐千代

東京工科大学医療保健学部看護学科・産業保健実践研究センター

吉岡京子 地域看護学教室

本田千可子 地域看護学教室

松本博成 地域看護学教室

前田明里 地域看護学教室

場所 : 医学部5号館地域看護学演習室

日程 : 2023年4月11日～2023年5月23日 火曜日 3,4限 (変更日時あり)

講義目的および内容 :

公衆衛生看護学の歴史、世界の動向、基盤となる概念を学ぶ。コミュニティの健康課題を明確化する方策、および、課題解決に向けた活動方法について学ぶ。

参考書 : Community As Partner — theory and practice in nursing eighth edition, 2019
Public health nursing 8th edition. Philadelphia: Elsevier's Health Sciences Rights Department in Philadelphia. 2012.
金川克子編「地域看護診断 第2版」東京大学出版会, 2011.
麻原きよみ編. 公衆衛生看護学原論. 医歯薬出版株式会社, 2022.

評価 : 出席状況・レポート・発表内容により評価する。

スケジュール

日程	時限	講義題目	担当
4月11日 (火)	3,4 限	公衆衛生看護学総論	吉岡
4月18日 (火)	3,4 限	産業保健概論	五十嵐
4月25日 (火)	3,4 限	Community as Partner (CAP)	吉岡
5月9日 (火)	3,4 限	Community as Partner (CAP)	吉岡
5月16日 (火)	3,4 限	Community as Partner (CAP)	吉岡
5月23日 (火)	3,4 限	Community as Partner (CAP)	吉岡
5月30日 (火)	3,4 限	Community as Partner (CAP)／まとめ	吉岡

4) 公衆衛生看護学II (保健師教育科目)

担当教員 : 吉岡京子 地域看護学教室
五十嵐千代
東京工科大学医療保健学部看護学科・産業保健実践研究センター
本田千可子 地域看護学教室
松本博成 地域看護学教室
前田明里 地域看護学教室

場所 : 医学部5号館地域看護学演習室

日程 : 2023年6月7日～2023年7月20日 水曜日 1,2 限 (変則日時あり)

講義目的および内容

: 公衆衛生看護学の倫理、基盤となる概念を学ぶ。コミュニティの健

康課題を明確化する方策、および、課題解決に向けた活動方法について学ぶ。

参考書 : Community As Partner — theory and practice in nursing eighth edition, 2019
 コミュニティアズパートナー第2版. 医学書院, 2007.
 Public health nursing 8th edition. Philadelphia: Elsevier's Health Sciences

Rights

Department in Philadelphia. 2012.
 金川克子編「地域看護診断 第2版」東京大学出版会, 2011.

評価 : 出席状況・レポート・発表内容により評価する。

スケジュール

日程	時限	講義題目	担当
6月7日 (水)	1, 2 限	地域診断演習	吉岡
6月14日 (水)	1, 2 限	地域診断の方法論：情報収集	吉岡
6月21日 (木)	1, 2 限	地域診断の方法論：演習（地区踏査①）	吉岡
6月28日 (水)	1, 2 限	地域診断の方法論：演習（発表①、必要時は地区踏査）	吉岡
7月5日 (水)		産業保健看護活動論：個別支援の理論と実際	五十嵐
7月12日 (水)	1, 2 限	地域診断の方法論：演習（分析・統合、必要時は地区踏査②）	吉岡
7月19日 (水)	1, 2 限	地域診断の方法論：講義・演習（発表②）	吉岡

5) 行政看護学特論（保健師教育科目）

担当教員：麻原きよみ 聖路加国際大学地域看護学

大木 幸子 杏林大学保健学部看護学科
 倉永 優子 厚生労働省医政局看護課
 高橋 裕子 世田谷保健所 玉川保健相談課長
 明神 未来 高知県 幡多福祉保健所 健康障害課
 吉岡 京子 地域看護学教室
 本田千可子 地域看護学教室
 松本 博成 地域看護学教室
 前田 明里 地域看護学教室

場所： 医学部5号館地域看護学演習室

日程： 2023 年 9 月 6 日～2023 年 10 月 18 日 水曜日 1, 2 限 （変則日時あり）

講義目的および内容：

健康政策や公衆衛生看護実践に関わる倫理的問題を議論する能力を養うと共に、事業化・施策化やリーダーシップに関する実践的能力を養うことを目的とする。具体的には、専門的知識を学び、批判的思考力を養うため課題やディスカッションに取り組む。

評価：出席状況・課題発表・ディスカッション・レポートにより評価する。

参考書：藤内修二．標準保健師講座・別巻 1 保健医療福祉行政論 第 5 版 （2021）医学書院．

スケジュール：

日程		時限	講義題目	担当
9 月 6 日	(水)	1, 2 限	行政看護学概論	吉岡
9 月 13 日	(水)	1, 2 限	行政機関における健康政策：施策化、評価	吉岡
9 月 27 日	(水)	1, 2 限	看護系技官として働くことの魅力	倉永
10 月 4 日	(水)	1, 2 限	行政保健師として働くことの魅力：県保健師	明神
10 月 4 日	(水)	3, 4 限	公衆衛生看護と公共論	大木
10 月 11 日	(水)	1, 2 限	公衆衛生看護における倫理：保健師の立場から	麻原
10 月 18 日	(水)	1, 2 限	行政保健師として働くことの魅力：管理職保健師	高橋

(4) 大学院実習

1) 公衆衛生看護学実習I

継続実習：公衆衛生看護学実習Ⅱ終了後

実習施設：文京区保健サービスセンター

2) 公衆衛生看護学実習Ⅱ

2023 年 11 月 20 日（月）～12 月 15 日（金）

実習施設：文京区保健サービスセンター

実習報告会：2024 年 2 月 29 日

(5) 大学院演習

1) 学校保健に関する演習

演習施設：杉並区立第十小学校 2023 年 11 月 2 日

杉並区立沓掛小学校、2023 年 11 月 9 日

(6) 卒業論文

2023 年度は該当なし

(7) 修士論文

2023 年度は該当なし

(8) 博士論文

城内愛（指導教員：吉岡京子）

新型コロナウイルス感染症の自宅療養者支援に携わる 訪問看護師の経験に関する質的研究.

5 学会における活動

吉岡京子

日本看護学学会 研究・学術推進委員会委員

2023 年 7 月 10 日 - 2025 年 6 月 定時社員総会締結の日まで

日本看護科学学会 評議員・査読委員

日本公衆衛生看護学会 査読委員 （～2023 年 5 月まで）

本田千可子，松本博成

日本公衆衛生学会 査読委員

松本博成.

介護支援専門員研究協議会研究委員

6 社会的活動

吉岡京子、本田千可子

厚生労働省新型コロナウイルス感染症等対応人材（IHEAT）2023年4月～

吉岡京子

文京区における在宅医療介護連携推進施策アドバイザー

2023年10月1日 - 2024年3月31日

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員

2023年10月25日 - 2024年10月24日

松本博成

東京都文京区介護保険認定審査会 認定審査委員 2023年5月～

7 教室員名簿(2023年度)

准教授

吉岡京子

非常勤講師

麻原きよみ 安齋由貴子 五十嵐千代 大木幸子
蔭山正子 小林小百合 荒木田美香子
永田智子 萱間真美 平原由美

助教

本田千可子 松本博成 前田明里

事務員

浅野園子 川口愛子 品川友里子

大学院生（博士課程）

城内愛 横堀花佳

大学院生（修士課程）

辰亥佳奈 高橋薫 宮井雪乃

客員研究員

小林小百合 土屋瑠見子 山本なつ紀